



懸 かけはし 橋

ぎかいだより



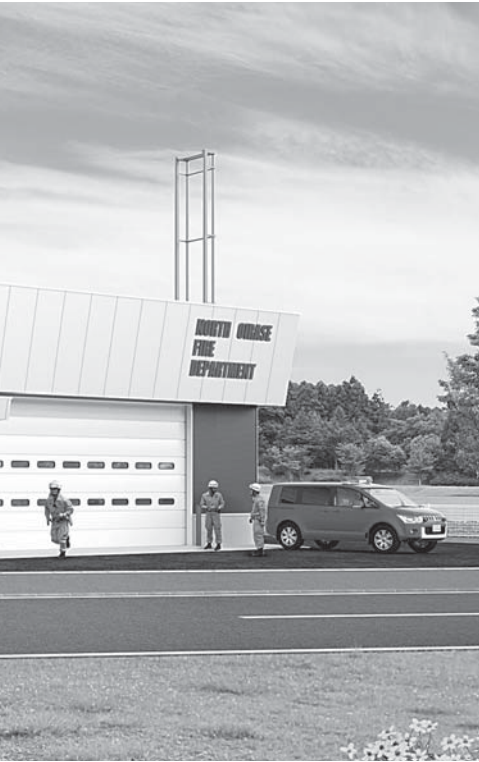
下田小学校の新入生のおともだち「交通安全に気をつけて登校します。」

- ◆ 第1回定例会、予算特別委員会・・・・・・・・・・ 2～9ページ
- ◆ 一般質問（2名）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10～12ページ
- ◆ 産業民生常任委員会調査報告・・・・・・・・・・ 13ページ
- ◆ 平成25年度議長交際費の公表・・・・・・・・・・ 14ページ

第1回定例会

8%増の101億円

遺所建設負担金2億3000万円を計上



北分遺所（イメージ図）

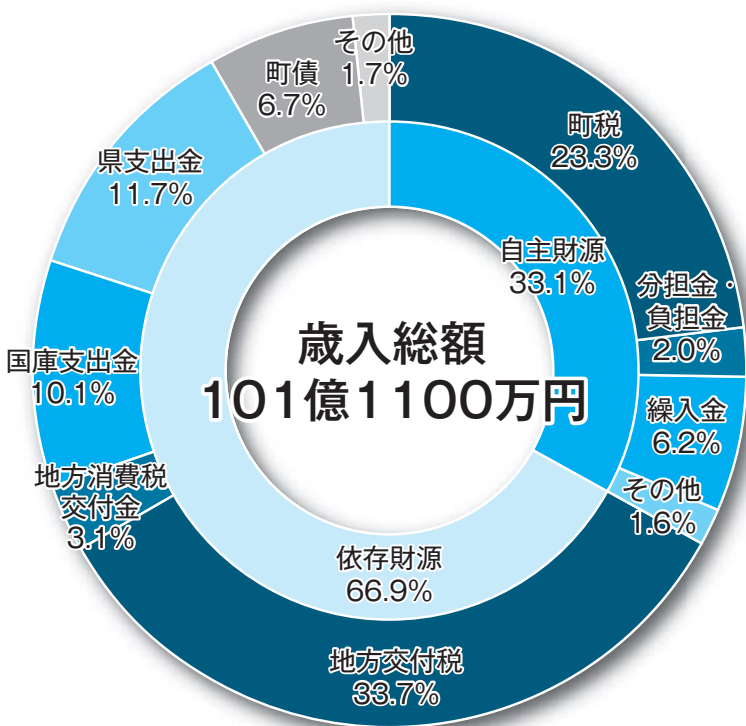
歳入

自主財源の主たる町税が、前年比4.7%増の23億5千185万円となり、国・県等からの依存財源の主たる地方交付税は2.0%減の34億1千万円となりました。歳出に見合う財源を確保するため、町の貯金である基金から6.3%増の6億2千345万円を繰り入れしての予算編成となりました。

町の借金となる町債は、13.3%減の6億7千630万円となり、町民一人当たりの町債残高は、44万円となりました。

平成26年第1回定例会は、3月6日から14日までの9日間の会期で開かれ、平成26年度一般会計及び特別会計の当初予算など、報告1件、諮問1件、議案29件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問には、2人の議員が登壇し、町当局の考えを質しました。



※自主財源

町が自主的に得られる財源で、町税、条例や規則で基準を定めて徴収できる使用料、手数料など。

○町税：町民税、固定資産税、軽自動車税など

○分担金・負担金：保育料、学校給食費（百石地区）など

○繰入金：財政調整基金など町の貯金を下ろして使うこと

○使用料・手数料：町営住宅や霊園等公共施設の使用料や住民票発行などの手数料

※依存財源

国や県の基準に基づいて交付される財源で、地方交付税、国庫支出金、県支出金、町債など。

前年度より3. (仮称) おいらせ消防署北分

歳出

義務的経費の人件費と公債費は前年度より減額となりましたが、扶助費が前年比10.7%増となり、総額では2.0%増の44億7千785万円と計上しました。

投資的経費は前年比6.7%増の10億396万円となり、その他の経費は、5.0%増の46億2千919万円と計上しました。



北部地区に建設される(仮称)おいらせ消防署

※義務的経費

支出が義務的で任意では削減できない経費。

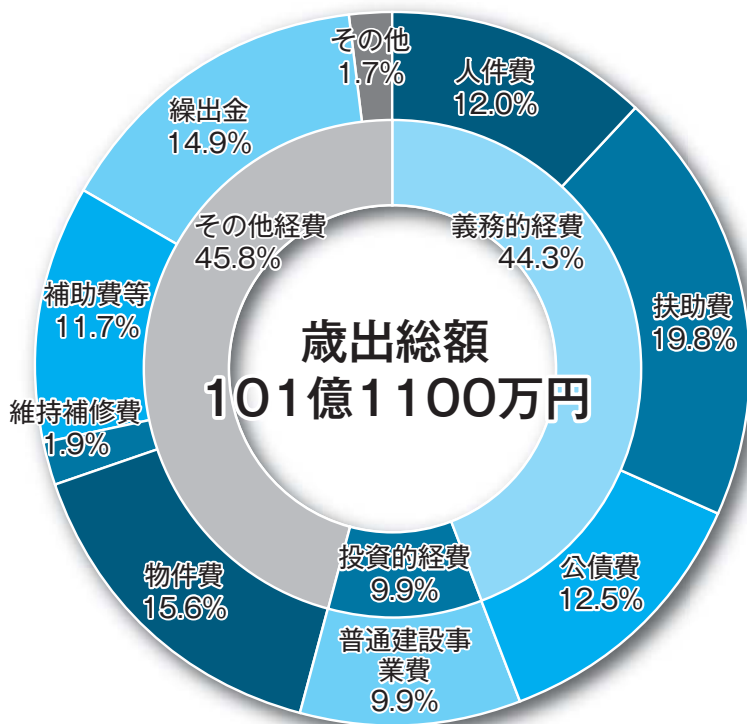
- 人件費：議員や職員などの給与
- 扶助費：児童手当や保育所運営費、医療給付費など
- 公債費：借入金の元利償還金

※投資的経費

支出の効果が単年度また短期的に終わらず、固定的な資本の形成に向けられる経費。

※その他の経費

- 物件費：光熱水費、消耗品、臨時職員の賃金等。
- 補助費等：広域組合等への負担金
- 繰出金：特別会計に支出される経費



予算特別委員会 — 主な質疑 —



予算特別委員会の議事を進行する吉村敏文委員長（右）と榎山 忠 副委員長（左）

一般会計

問 2月28日現在、約495万8千円の保育料の滞納額があるとのことだが、これを解消する方法は。

答 保育料未納者への対応は、児童手当の支給方法を口座振替から窓口払に変更し、町民課で納付相談を実施し、計画的に納めてもらっている。その結果、滞納繰越分については、約356万円を徴収した。

滞納者の転出についても住民基本台帳システムに「滞納あり」と記載し、転出時に納付相談をしている。

問 霊園使用料について霊園の残区画と使用料の使い道は。

答 霊園の残区画は138区画であり、使用料は霊園の管理に使っている。

問 電源立地地域対策交付金・県核燃料等物質取扱交付金は何に使用しているのか。

答 電源交付金は、国の原子力推進政策で原子力関連施設の立地自治体・周辺自治体の地域振興目的で交付されており、おいらせ町は、六ヶ所村の再処理施設関連で交付されている。

小中学校、社会教育施設（公民館等）の光熱水費、おいらせ病院の人件費、いちよう公園、下田公園、サーモンパーク等の維持管理費、がん検診の検診委託料、児童館スタッフの人件費等に使われている。県核燃料等物質取扱交付金は公共施設整備基金に積み立てられ、将来の公共施設の改修工事に使う予定。

問 広報の配布について、町内会に加入していない世帯もあるし、町のPRや町の政策をアピールする場でもあるので、JAや入浴施設、ショッピングセンターでも配布する考えはないか。

答 広報紙の配布については、町内会のほか、町内主要公共施設に配布し、広報紙をもらえるようにしている。町内の民間施設には配布していないが、内部で検討はしている。新年度に対象施設を定めて、



上：町内会に開催が委託された敬老会
下：いちよう公園の目玉 ローラー滑り台

上：昨年実施された婚活パーティー
下：閉鎖を待つ最終処分場

配布する方向で検討しているのですが、もう少し時間をいただきたい。

問 電気自動車用電源設備はどこに設置し、何台充電できるのか。

答 電気自動車用電源設備工事は、国の外郭団体から3分の2の補助を受け実施する事業であり、役場本庁舎玄関脇に急速充電器1台を設置し、公用車として電気自動車1台を借り上げる予定。

問 本庁舎への太陽光発電設備整備の内容は。売電するものなのか、蓄電するものなのか。また耐用年数は。

答 発電量20Kw、5.5Kwの蓄電池を準備し、売電は考えていない。耐用年数は20年と考えている。

問 おいらせ町婚活イベント事業とはどのような事業を展開するのか。実行委員会はどのような方を想定しているのか。

答 町の青年団体が主となって定住化や少子高齢化問題に取り組むべき事業として婚活

事業を実施する。構成団体は、町青年団、町商工会青年部と一緒にやって行い、平成26年度は1〜3回の婚活パーティーを行う予定。

平成25年度も地域振興協議会から補助金をいただいて、この実行委員会が主となってイオンモールで実施しており、参加者男女各50名の募集に対し男性59名、女性51名の参加者があり、カップルが複数できているとのこと。

問 三沢百石バス路線維持費補助金の積算根拠は。

答 平成19年に十和田観光電鉄のダイヤ改正があった際に、八戸から三沢までの直通バスの廃止により、乗車人数が極端に減り、その分を六戸町・三沢市・おいらせ町で案分し補填している。

599万円に対し約39%をおいらせ町の補填分としている。

問 敬老会はいくつの町内会が実施しているのか。開催委託料は去年より増えているのか減っているのか。

答 40町内会36地区の1千500名の出席を予定して予算を計

上。一人あたり1千400円から3千円に増額した。

問 旧下田町では、70歳以上を敬老会の案内対象としているが、合併後は収容施設の問題から75歳以上となった。

各町内会に委託したことにより、この問題が解消されたと考えるので、再び70歳以上を案内対象としていいのでは。

答 検討させていただきたい。

問 最終処分場閉鎖工事の場所と内容は。

答 日ヶ久保にある最終処分場の工事であり、50cmの土盛りと整地、側溝の整備を行う。

問 工事完了後、最終処分地はどつなるのか。

答 工事完了後2年間、水・ガスの検査をし、異常がなければ閉鎖できることになる。跡地利用については、建設や掘削についての規制があるので、緑地として使う。



上：洋式トイレに改修されるいちょう公園トイレ 左下：ジャスコ道路の防雪柵（収納時）
右下：津波による浸水が想定される堀切川・川口地区（明神山より撮影）

問 コールセンターオペレーター人材育成事業はどのような事業か。

答 県外からコールセンター業務を行っている企業を誘致し、オペレーターの研修の実施、コールセンター事業を展開する。おいらせ町・八戸市の被災者を対象に約40人の雇用を見込んでいます。

問 土地利用事前調査委託料の具体的内容は。

答 町全体の都市計画区域を見直すために各地域の建物の用途、建蔽率、容積率を調査する。

問 26年度の除雪作業委託料として、3千282万円を計上しているが、今年度も補正予算で4千万円を追加計上して対応している。25年度並みの予算で大丈夫か。最初から最大限の除雪のための予算を計上しておくべきではないか。

答 除雪経費だけ多めに計上する、現実性のないことを倍に計上するのはいかがなことかと思うが、27年度以降に検

討させていただきたい。

問 いちよう公園トイレとローラーすべり台の改修工事について教えてほしい。

答 いちよう公園内のトイレを洋式トイレに改修するが、今後3年間をかけて、下田公園内のトイレも改修する予定。ローラー滑り台は、いちよう公園の目玉であり、幼児から大人まで利用している。ローラー部分がひび割れしているので、すべて交換する。

問 防雪柵組立収納工事費1千万円とあるが、防雪柵はどこに設置しているのか。

答 通称ジャスコ道路の防雪柵3.9km分である。

問 消防費の土地購入費2千887万4千円の根拠は。

答 津波避難タワー用地2千100万円、松原地区避難階段用地780万円である。周辺地域の路線価を基に積算した。

問 今年、防火水槽はどこに設置するのか。

答 深沢コミュニティセンター付近を考えている。

問 甲洋小学校創立50周年を迎えるにあたり、屋外環境整備だけでなく、廊下・体育館等校舎内の改修もできないか。公共施設整備基金もあるし、改修により定住促進のアピールともなる。

答 今年は校舎の屋根の葺き替え・外壁の塗り替え等を実施する。やるとしたら間に合うようにしたい。

問 中学校の備品購入費が少なくないか。百石中学校のブラスバンドの楽器が不足しているとのことだが。

答 何年か前に国の事業により楽器を購入したが、百石中学校分は少なかったのは確かである。その当時は足りていたが、楽器が老朽化したか、ブラスバンドの生徒数が増えたせいだと思う。今年ではできないが、今後考えていきたい。

平成26年度 各会計の当初予算額

会 計 別		本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	差 引 増 減
一 般 会 計		101億1100万円	97億3970万円	3億7130万円
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	28億 869万円	29億 630万円	▲9761万円
	奨学資金貸付事業特別会計	1727万円	1813万円	▲86万円
	公共下水道事業特別会計	11億 837万円	10億2657万円	8180万円
	農業集落排水事業特別会計	1億2395万円	1億1640万円	755万円
	介護保険特別会計	20億9250万円	18億4847万円	2億4403万円
	公共用地取得事業特別会計	3906万円	4150万円	▲244万円
	後期高齢者医療特別会計	1億5215万円	1億4365万円	849万円
計		63億4200万円	61億 103万円	2億4097万円
(公営企業会計) 病院事業会計		11億1241万円	10億1501万円	9741万円
総 計		175億6541万円	168億5573万円	7億 968万円

※ 数値は、各会計毎に万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。

国民健康保険 特別会計

問 滞納繰越について、徴収専門員を置く考えはないか。

答 今の時点ではそこまでは考えていないが、税の徴収専門だけでなく、その他の債権の徴収を含めて広く全般に携われるような任期付職員の使用を考えたい。

公共下水道事業 特別会計

問 東日本大震災後にマンホールの蓋が沈下し、車両通過時の騒音により周辺住民から苦情があると聞いている。また、逆に浮上し除雪の障害となっているが、その対応策は。

答 今年度、マンホール周辺の段差・蓋のがたつきの解消のため、工事を実施する。

病院事業会計

問 病院の病床数76床に対し、入院患者数は1日56人を見込んでいるが、病床数に対する充足率は何%か。

答 国では自治体病院の経営改善のため診療所へ格下げするという政策があり、その判断材料は病床利用率70%以上だったと思うが、近年の推移はどのような状況か。

答 充足率は74%である。25年度で終了する公立病院改革プランでは、病床利用率が70%を下回り、それが続くような病院は病床の削減もしくは診療所化の検討をするという内容であった。

当院の病床利用率は、平成20年75%、同21年71%、同22年70%、同23年74%、同24年68%となっている。

問 新年度に利用率70%を下回ったとしても、病床数の削減等指導を受けないか。

答 国から改革プランに代わる新たなプランについては示されていないが、今のところ70%を下回ったとしても病院に対するペナルティはない。



→屋根外壁等が塗り替えられる
甲洋小学校

【一般会計】平成26年度の主な事業内容

・本庁舎太陽光発電設備整備工事	4656万円	・経営体育成支援事業費補助金	570万円
・本庁舎屋上防水改修工事	1500万円	・青年就農給付金	300万円
・公共施設整備基金積立金	1億2004万円	・漁業者担い手育成補助金	345万円
・町民バス運行業務委託料	2368万円	・商工会プレミアム商品券発行補助金	1150万円
・地域の元気再生定住促進助成金	2180万円	・町道維持補修工事	1億1000万円
・障害者（児）福祉各種給付費	4億1505万円	・町道整備工事	1億5000万円
・後期高齢者医療療養給付費	1億6052万円	・除雪作業委託	3228万円
・乳幼児等医療給付費	8770万円	・公園管理費	9320万円
・保育所運営費	8億8776万円	・八戸広域事務組合消防費負担金	2億9906万円
・児童手当	4億2228万円	・同おいらせ消防署分遣所建設負担金	2億3193万円
・ひとり親家庭等医療給付費	2830万円	・百石道路避難階段等整備工事	8000万円
・乳幼児等予防接種委託料	5150万円	・津波避難タワー・避難階段等用地購入費	2887万円
・妊婦乳児健康診査委託料	2364万円	・生活・経済活動復興支援助成金	1920万円
・健康診査委託料	2700万円	・要保護及び準要保護児童生徒援助費	2236万円
・最終処分場閉鎖工事	4800万円	・甲洋小学校屋根外壁等改修工事	8281万円
・十和田広域事務組合ごみ処理費	1億2270万円	・阿光坊古墳群保存整備工事	2000万円
・雇用対策事業費	2億5561万円	・町債償還元金・利子	12億5987万円

除雪対策費

4,000万円を追加し、総額8,729万円に

◆一般会計補正予算（6号）

2月8日から9日にかけての降雪により、除雪対策費として4千万円を増額補正し、平成26年2月10日付けで専決処分したことについて議会に報告がありました。

◆一般会計補正予算（7号）

歳出は、十和田地域広域事務組合じん芥処理費負担金2千17万円、明神川改修に伴う町道橋りよう架替工事の負担金1千843万円や木ノ下小学校太陽光発電設備整備工事費1千79万円など2億3千217万円を減額補正し、予算総額100億1千324万円としました。歳入は、町民税や町たばこ税などの町税5千893万円を増額し、財政調整基金1億5千699万円の繰り入れを減額しました。

※専決処分とは

本来、議会の議決・決定を経なければならぬ事柄について、地方公共団体の長が地方自治法（昭和22年法律第67号）の規定に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理することを行います。

25年度3月補正予算の内容

会計別		補正額	補正後の額	歳出の主なもの
一般会計		▲2億3217万円	100億1324万円	被災者住宅再建支援補助金 ▲3147万円 生活・経済復興支援助成金 ▲4410万円 津波避難タワー等用地購入費 ▲2887万円 震災復興交付金基金積立金 1057万円 町債償還利子 ▲1285万円
特別会計	国民健康保険特別会計	▲9654万円	28億4973万円	診療報酬給付費 ▲6922万円
	奨学資金貸付事業特別会計	16万円	1564万円	奨学基金積立金 16万円
	公共下水道事業特別会計	▲781万円	10億5294万円	下水道事業費業負担金 ▲432万円
	農業集落排水事業特別会計	▲84万円	1億1531万円	処理施設維持管理委託料 ▲60万円
	介護保険特別会計	117万円	20億3431万円	システム改修委託料 52万円
	公共用地取得事業特別会計	—	4532万円	
	後期高齢者医療特別会計	784万円	1億5203万円	後期高齢者医療連合納付金 784万円
	計	▲9602万円	62億6527万円	
(公営企業会計) 病院事業会計		▲2924万円	9億8577万円	医療機器購入費 ▲925万円
総計		▲3億5743万円	172億6428万円	

※数値は、会計毎に万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。▲は減額です。



任期満了に伴い、引き続き同氏を人権擁護委員の候補者として推薦するものです。



つまがり 洋子 氏 (向山) 津曲

人権擁護委員に
津曲さんを推薦

その他の審議案件

【議案】

◆町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定

新型インフルエンザ等対策特別措置法の規定に基づき、政府が緊急事態宣言した場合に町が設置する対策本部について必要な事項を定めます。

◆町交通安全条例の一部改正

交通安全対策基本法が改正され、交通安全対策会議の委員の資格要件が拡大されたことに伴い、町条例の関係する規定についても所要の改正を行います。

◆町一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正

県人事委員会勧告に準じた通勤手当の改定や大規模災害からの復興に関する法律施行に伴う災害派遣手当の拡大、労働基準法の改正に伴う時間外手当に係る所要の改正を行います。

◆消費税率及び地方消費税率の改定に伴い関係条例の整備に関する条例の制定

本年4月1日からの消費税率の引き上げに伴い、関係条例について所要の改正を行います。

◆町下水道事業受益者分担金に関する条例の一部改正

下水道処理区域外より公共下水道への接続を認められた受益者から分担金を徴収することについて改正を行います。

◆町道の路線認定について

藤ヶ森24号線（牛込平地内）・秋堂7号線（木崎地内）を町道として認定します。

◆損害賠償請求事件の損害賠償額を定め和解することについて

係争中の医療訴訟事件について、損害賠償額を定め和解を成立させます。

◆平成25年度病院事業会計資本金の額の減少について

平成25年度病院事業会計資本金の本剰余金の処分について

◆平成25年度病院事業会計未処分利益剰余金の処分について

地方公営企業会計制度の見直しに伴い、新会計基準が適用されることから、病院事業会計の移行処理を行います。

〈全会一致で可決〉

手話言語法の制定を

— 請願 —

産業民生常任委員会で審査されていた「手話言語法制定を求める意見書」の提出を求める請願書について、報告を受けた議会は、全会一致で採択しました。

また、採択に伴い、委員会提案により、政府に意見書を提出することを可決しました。

全員協議会

去る2月25日、全員協議会が開催され、第1次おいらせ町総合計画後期基本計画（案）や町地域防災計画・町津波避難計画などについて協議しました。

◆第1次おいらせ町総合計画後期基本計画（案）について

前回の協議会（平成25年12月17日開催）や住民説明会、意見募集（パブリックコメント）などを通じて寄せられた意見への回答及び対応について説明がありました。

◆職員採用関係書類紛失に係る再調査結果について

平成25年第4回定例会の一般質問において取り上げられた職員採用関係書類の紛失について、退職職員も含めたすべての関係職員に対する調査や全課での文書搜索の結果、発見できなかったことが報告されました。

◆町県民税の還付加算金の未払いについて

新聞報道された件について、これまでの経緯と原因、対応方針や再発防止策について説明がありました。

◆公共下水道及び農業集落排水施設使用料の賦課漏れについて

公共下水道及び農業集落排水施設使用料の賦課漏れについて、原因と今後の対応、再発防止策について報告がありました。

◆町地域防災計画の修正・町津波避難計画（案）・町災害備蓄計画（案）について

東日本大震災から得た教訓や国・県の防災計画を踏まえ町地域防災計画を修正することが報告されました。また、津波発生時の避難計画や災害による流通機能がストップした場合に備えた備蓄計画の案について説明がありました。



審査結果を報告する
吉村敏文産業民生常任委員長

町政を問う

～ ここが聞きたい 一般質問 ～

ページ	質問事項	質問議員
11	1 町震災復興計画の進捗状況について	平野敏彦
	2 町地域の元気再生定住促進条例について	
	3 町当初予算の概要について	
12	1 除雪について	榎山忠
	2 社会福祉協議会について	

※「一般質問」とは、議員が、町の一般事務について、執行機関に対しその執行の状況及び将来の方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め又は疑問を質すことです。年4回の定例会にて行われます。

※一問一答方式の場合、60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

「ぎかいだより懸橋」では、スペースの都合上、質問と答弁を要約していますので、本会議場での傍聴をお待ちしております。

※会議録は、議会事務局やホームページで閲覧できます。

※一般質問に関する記事は、質問者自身で作製しています。

一般質問



平野 敏彦 議員

震災復興計画の進捗状況について

質問 防災林の倒木と防火対策は。

町長 上北地域県民局実施の海岸防災林造成事業により、倒木や枯れ木は、現地で再利用し、春と秋の火災予防運動の中で防火対策の啓発運動で対応します。

質問 防災林植栽の現状は。

町長 平成24年度から平成32年度にかけ、森林整備を実施する計画となっています。

質問 海抜表示について全町に表示したというが。

町長 昨年从今年度の二カ年にかけて実施し、2月に工事を終えたところです。

地域の元気再生定住促進条例について

質問 甲洋小学校周辺の空き地に建築上の制限があるが、解除の方法は。

町長 都市計画法で定められた市街化調整区域となっており、制限の解除や規制を緩和するためには、県との協議や調整を行った上で都市計画の変更をしなければなりません。町では規制の緩和という方法をとっています。

質問 甲洋小学校学区内に新築するサラリーマンに対する建築上の制限は。

町長 平成12年に都市計画法が改正され、おおむね50戸以上の建築物が連担している地域内であれば、条例で定める

ことにより、農林漁業者以外でも住宅を建てるのが可能となりました。

質問 下田小・甲洋小学区内に住んでいる住民の第三子以降の子育て世帯に対する助成措置の考えは。

町長 当町では第三子以降の子育て支援策として、保育料等の負担軽減を実施しています。子どもが三人以上いる世帯で、第三子以降の子どもが保育所に入所している場合に、年齢及び所得階層区分に応じ、保育料の軽減措置を行っています。幼稚園についても同様の区分で、第三子以降のみを対象にした町単独の、すくすく子育て支援費補助金制度により、負担の軽減を図っています。

質問 現在、甲洋小学校の学区内には、子供1人世帯が10世帯、2人世帯が71世帯、3人世帯が31世帯となっている。3人目に20万円助成する方法が条例の効果及早まるのではないか。

町長 私もそうしたいものだ

など感じていました。そういう制度をつくっていただければよかったです。私の不行き届きによりまして返任しなければならぬということ、担当課長にはそういう制度を作るよう申し送りしたいと思しますのでご理解いただきたいと思います。

当初予算の戦略キーワードは

質問 当初予算の戦略キーワードは何か。

町長 平成26年度予算の重点施策は三つあります。

一つ目は、町活性化対策です。町に人を呼び込み、そこに住む人や地域の活力を高めることで、町の持続的発展を図られていくものと考えています。

二つ目は、子育て対策です。町の将来を担う子供たちが健康やかに育つ環境づくり、子育てを安心して出来る町。

三つ目は、防災・減災対策です。安全・安心な社会の実現は、町の基本的役割であり、大きな使命の一つであります。

質問 後期基本計画施策事業の基本は。

町長 4月1日から後期基本計画がスタートします。町づくりの7つの基本方針、47の施策、154の主な取り組み事業で構成されております。基本方針「住民と議会・行政がともに考え、行動するまち」

- 方針一 「自然と利便性が調和するまち」
- 方針二 「心豊かな子育てと伝統・文化が香るまち」
- 方針三 「快適で安心して暮らすことができるまち」
- 方針四 「みんなが互いに助け合うまち」
- 方針五 「活力を創出し住み続けることができるまち」
- 方針六 「住民主体のまちづくりを支える基盤づくり」

質問 基本計画策定に各種団体の意見反映は。

企画財政課長 各団体からの要望が相当数に上がりました。それはすべからうできるものではなくて、できないものも当然あったかと思っています。

一般質問



橋山 忠 議員

除雪対策は

質問 2月15日から16日にかけて、町の降雪量は何cmでしたか。それに対する初動体制は適切でしたか。

町長答弁 木ノ下観測所のデータでは56cmでした。

15日の夕方に除雪委託業者18社に、深夜0時からの出勤を指示しました。その時点での積雪は20cmでしたが、その後も降り続いたために、各業者とも最初に作業した路線を再び作業を行う結果となりました。雪質が重かったこと、路上駐車や道路への雪出し等のため、作業に時間がかかり多くの皆様にご不便をかけたと思いますが、現在の除雪体制でできる最大限の対応であったと

考えています。
質問 業者は15日午後には出勤態勢にあり、早期の対応を電話連絡したと聞かれます。

地域整備課長 15日午後12時

社から「出勤は何時か」の問い合わせがあり、「深夜0時の出勤」を17時に電話にて各業者に連絡しました。

質問 15日時点での除雪予算の残額は。予算的な対応は十分であったと思いますか。

地域整備課長 2月8、9日に23cmの降雪があり、当初予算不足となり、10日付で増額補正予算を専決処分しました。

副町長 当初3千万円に2千万円でも追加する方針を1月の時点で指示していました。

質問 除雪対策本部の設置有無を教えてくださいませんか。

町長答弁 町地域防災計画に定めています。今回の大雪には災害対策本部を設置せず、受託業者と連携し対処するよう地域整備課に指示しました。

質問 町長は、除雪について農家のトラクター利用を提案していたが、そのアイデアを大雪に活用する考えは。

町長答弁 任期中に実現できず残念に思いますが、農家の

方々と協力していくことは考えていくべきだと思います。

質問 大雪後の苦情件数とその内容と対応は。

町長答弁 2月16日から23日

にかけて353件。「除雪してほしい」が303件、86%。「家の前に雪を盛り上げていった」が24件、7%。「除雪の仕方が悪い」が7件、2%。「その他」が19件、5%。職員のパトロールで現状を把握し、可能な範囲で業者に指示しました。

質問 苦情353件は過去最多ですか。また、北部の町内会に「雪捨て場は町内会で確保しなさい」と言った真意は。

地域整備課長 1日に353件は過去最高でした。町で場所を探すとお金の話になることから、町内会にお願いしていました。

質問 金に関係なく確保すべきでは。また、2月23日時点での苦情解決状況は。

町長答弁 23日時点でほぼ解消されていますが、雪捨て場にしたい畑の整理をしてほしいとの要望が1件残っています。

質問 各学区の歩道除雪を各学区のボランティアで行って

いますが、大雪除雪作業に報いる考えは。

町長答弁 大変なご苦労をかけた。今後地域とのパートナーシップによる除雪体制を推進するために、皆様の要望を可能な限り取り入れて、作業しやすい環境づくりに努めたいと思います。

社会福祉事業の助成金健全化は

質問 町社協では助成金の集金を各町内会に委託しているが、今年度の集金額と昨年度対比は。

町長答弁 平成25年度の社協一般会費納入額は、2月26日現在47万1千円、前年度比較124万9千円の減。赤い羽根共同募金は27万8千円、前年度比較2万9千円の減の報告でした。

質問 その助成金の補助先は。

町長答弁 町老人クラブ連合会ほか30団体に助成しています。

質問 各団体の減額は。

町長答弁 平成26年度から町老人クラブ連合会ほか30団体、

一律5千円減額予定とのこと。です。

質問 町社協では年内に防災ボランティア団体を立ち上げる予定ですが、財源は補助金ではありませんか。

介護福祉課長 共同募金会からの配分金を一部充当し、事業運営されるのではと考えています。

質問 減額問題は使途不明金問題から端を発していると思うが、約15万円の減額の内訳は。

町長答弁 使途不明金が影響していると考えます。

介護福祉課長 2月26日現在の納入状況は、納入世帯なしが1町内会、1世帯のみ納入が3町内会、30世帯以上が納入しないのは8町内会となっています。

質問 町民が社会福祉事業に對し信頼を失いつつある今こそ、町社協会長に再度、経過と今後の対策を聞く考えはありませんか。

町長答弁 双方の委任弁護士により交渉が進められ、公表や説明ができる状況となった場合、報告されるものと思えます。

平成26年度町道整備費 1億5千万円を計上

— 町内道路整備箇所を調査 —



No.13 北ノ平線外



No.9 緑ヶ丘2号線



No.1 古間木山24号線

概算事業費145億円
— 生活関連道路整備計画 —

平成26年3月19日、産業民生常任委員会（吉村敏文委員長）が開催され、平成26年度おいらせ町生活関連道路整備基本計画について、地域整備課職員から説明を受けました。
この計画は、これまで町民

平成26年度 町道整備工事箇所（予定額1億5,000万円）

No.	種別	町内会名	路線名	延長	工事内容
1	継続	緑ヶ丘	古間木山24号線	55m	舗装、側溝
2	継続	鶉久保	鶉久保地区5号支線	110m	舗装、側溝
3	継続	阿光坊	向山・阿光坊線	90m	舗装
4	継続	木内々	木内々・本町線	100m	舗装、側溝
5	継続	秋堂	秋堂7号線	40m	舗装、側溝
6	継続		豊栄・間木堤線	100m	舗装、暗渠
7	継続	一川目	一川目1号線	130m	舗装、歩道
8	継続	二川目	二川目60号線	50m	舗装
9	継続	緑ヶ丘	緑ヶ丘2号線	70m	側溝
10	継続	根岸	根岸3号線外	100m	舗装、側溝
11	新規	上前田	根岸1号線	70m	舗装、側溝
12	新規	二川目	二川目81号線	70m	舗装、側溝
13	継続	阿光坊	北ノ平線外	250m	舗装、側溝、歩道
14	新規	間木	間木地区	—	調整池整備、安全施設

から寄せられた要望や苦情を中心に整備が必要とされる箇所を選定し策定したものです。本計画の概算事業費は、約145億1千万円程度必要と見込まれており、本計画に搭載された路線の全ての整備を終了するためには数十年の年月を要します。

委員会では、平成26年度に工事や測量設計・用地買収等が予定されている18箇所についての説明を受け、その後、現地を確認しました。また、現地確認終了後には、平成25年9月定例会において、吉村敏文議員が一般質問において取り上げた「町道二川目

寄附された道路用地の整備が進展しないが、どうなっている



30数年間放置された町道二川目48号線

質問 町道二川目48号線整備はどうするのか。
この路線の整備については、十数年前に町との協議で整備をすることから、地権者数名が町に土地を寄附している。
しかし、何年経過しても整



吉村 敏文 議員

一般質問

備の様子もつかえない。また町からの説明もない。今後どのように取り扱うのか。
町長答弁 この路線は、国道338号から町道黒坂三沢線との間に位置する東西に延びる約1km、幅3mの砂利道です。昭和56年10月に、この路線の西側、山林地域の長さ約270mの土地を8名の方から道路用地として寄附していただいています。
当時から既に30年以上経過し、詳細については現時点では不明ですので、当時の関係者から可能な限り事情を聞きたいと考えています。

48号線」について、担当課長より報告がありました。
※町道二川目48号線とは、昭和56年10月に8名の方から寄附された約1km、幅3mの砂利道。（ぎかいだより懸橋第31号15頁に掲載）

平成25年度 おいらせ町議会議長の交際費を公表

支払日	種別	件名	金額(円)
4月13日	会費	おいらせ町子ども会育成連合会総会	1,000
4月25日	謝礼	町議会運営委員会視察研修のお土産	5,500
5月8日	会費	おいらせ町連合PTA総会	2,000
5月13日	会費	上北郡町村議会議長会定例会(第1回)	3,000
5月25日	会費	三陸復興国立公園指定記念祝賀会	6,000
6月14日	会費	町交通安全協会定例会総会	3,000
6月18日	会費	おいらせ町物産振興会定例総会	2,000
6月21日	会費	おいらせ町防犯協会定例総会	2,000
6月27日	会費	三沢地区連合防犯協会総会	4,000
7月22日	会費	八戸市おいらせ会総会	5,000
8月20日	会費	上北郡町村議会議長会定例会(第2回)	3,000
8月24日	会費	全国将棋祭り棋士を囲む歓迎レセプション	4,000
9月24日	協賛	おいらせ下田まつり祭ばやし競演会	10,000
10月10日	その他	沖縄県嘉手納町議会議員来町時接待費	5,800
10月23日	謝礼	町産業民生常任委員会研修視察のお土産	3,950
11月1日	会費	上北郡町村議会議長会定例会(第3回)	3,000
11月29日	弔慰	元下田町議会議員葬儀 生花・香典	25,000
12月14日	会費	社会福祉法人奥入瀬会・学校法人鳳学園合同忘年会	4,000
12月14日	会費	おいらせ町消防団活動報告会	5,000
1月5日	御祝	おいらせ町消防団出初式(19分団)	34,400
1月11日	会費	おいらせ町交通安全協会新年懇親会	2,000
1月19日	謝礼	ほら吹き大会観覧の上北郡内町村議会議長へのお土産	6,800
2月21日	弔慰	議会広報作成協力者葬儀 生花	15,000
2月27日	御祝	上北郡町村議会議長会定例会 日本酒	4,710
2月27日	会費	上北郡町村議会議長会定例会(第4回)	3,000
3月9日	会費	下田第7分団消防ポンプ自動車配置式	5,000
合計		23件	168,160

おいらせ町議会議長が表彰されました

平成26年2月6日に開催された全国町村議会議長会定期総会において、町村議会表彰においらせ町議会議長が全国25自治体の町村議会が表彰されました。

この表彰は、町村議会として他の模範として認められた議会に対し表彰されており、「住民に開かれた議会」、「政策づくりと監視機能を十分発揮している議会」の2点

が評価されたものです。おいらせ町議会には、同19日に青森県町村議会議長会定期総会が開催された際に伝達されました。



編集後記

2月から3月にかけての度重なる大雪で、町民の皆様には除排雪にご苦労されたことと思います。公道の、除雪に対する町当局への苦情も「例年になく多かった」と聞いています。

4年に一度の町長選挙も終わり、新町長は「除雪体制の見直し」に言及しています。

議員の一人として、町民の生活と安全の施策には、慎重審議の上にも協力をしたいと思えます。春が待ち遠しい人々は、幾度となく土や炭を畑地に撒きましたが、天は人の思い通りになつてはくれず、それでも町の基幹産業である農業に従事する人は、収穫時の喜びに期待して、一日でも早く種を蒔く準備に余念がありません。



今年一年の豊作と出来秋をご祈念致します。
議会広報編集委員
高坂 隆雄 記

第2回定例会のお知らせ

平成26年6月5日(木)から
会場は本庁舎3階の議場で、開
始時間は原則10時からです。

問い合わせ

議会事務局(本庁舎3階)

電話

0178(56)2112